

第20回盛岡地方裁判所・盛岡家庭裁判所委員会議事概要

第1 開催日時

平成23年2月7日（月）午後2時00分から午後4時20分

第2 開催場所

盛岡地方・家庭裁判所大会議室（5階）

第3 出席者

（委員）

◆姉帯幸子，◇岩崎耕太郎，□上野暁，◇内田浩，◆上神田富久，◇川上博基，◇河辺邦博，◆工藤哲郎，◇佐々木直人，◇菅原唯夫，◆高橋宏昇，◇田中寿生，◇千田耕一，◆塚田孝子，◇西尾博子，◆伴亨，◇前田則夫，◆松尾正弘，◆三上邦彦，□宮岡章，◆山本玲子

（五十音順，敬称略）

（◇盛岡地方裁判所委員会委員，◆盛岡家庭裁判所委員会委員，□盛岡地方裁判所委員会・盛岡家庭裁判所委員会兼務委員）

（庶務）

相馬地裁事務局長，北村家裁事務局長，高橋民事首席書記官，小林刑事首席書記官，魚住首席家裁調査官，佐藤家裁首席書記官，伊藤地裁総務課長，菅原裁判員調整官，一戸家裁総務課長補佐，藤倉家裁庶務係長

第4 盛岡地方裁判所委員会及び盛岡家庭裁判所委員会合同議事

- 1 開会の言葉（総務課長）
- 2 所長あいさつ
- 3 新任委員紹介
- 4 協議テーマ「裁判員裁判の実施状況について」の意見交換等

（1）基本説明等

意見交換に先立ち，当庁の裁判員裁判の運用状況等について，次の説明等

がなされた。

ア 選任手続の流れ（説明）

イ 選任手続の状況（施設見学，実演）

(ア) 受付手続室，候補者待合室，質問手続室，休憩室（いずれも3階）を見学

(イ) 模擬の受付手続等の実演

ウ 公判手続から判決宣告までの状況について（説明）

エ 裁判員経験者に対するアンケート結果及び裁判員経験者の記者会見について（説明）

(2) 意見交換

協議テーマ等に関し，概ね，次のような意見交換がなされた。

以下○が委員，●が説明者（委員），■が説明者（庶務）の発言

○ 個別質問のとき，候補者1人に対して裁判官3人と検察官と弁護人に囲まれると答えにくいのではないか。

● 直接質問するのは裁判長のみである。緊張していると思うので，質問にあたっては，いろいろと配慮しているし，必要最小限のことしか聞いていない。また，質問に見積もっている時間は一人あたり3分程度で，実際にはそれほどかからない場合が多い。

○ 候補者名簿作成にあたり，市町村の選挙管理委員会で行われる抽選に裁判所が立ち会うなどしているのか。また，選定にあたり公正さを疑われるようなことはないのか。

■ 各選挙管理委員会の裁判員候補者選定に裁判所が立ち会うことはない。選定はパソコンで抽選しているので，公正に行われている。

○ 喫煙者への配慮はしているのか。

■ （喫煙場所を設けるなどの）配慮をしている。

○ 裁判員，補充裁判員経験者に対するメンタルヘルスの対応について，県

内には提携している機関はあるのか。また、費用についてはどれくらいか。

- 県内の提携機関については承知していない。費用については、電話でのカウンセリングは無料であり、面接については5回まで無料である。なお、カウンセリングについては期限は設けられていない。
- ショックな体験をした場合、症状がすぐに出る場合と後から思い出す場合があるので、フォローアップは十分にやってほしい。
- 不出頭の候補者に対する対応は、どのようになっているのか。
- 出頭しない理由はいろいろ考えられるが、今後、個々の状況をふまえた上で対応していきたい。また、現時点では、過料の規定を適用した事例はない。
- 連絡なしに出頭しない人には、その理由や事情について追跡調査を行っているのか。
- 行っていない。制度が始まったばかりであり、どこまで厳しくやっていくかは今後の検討課題である。
- 出頭率が高いうちはいいと思うが、低下してきたらどうするのか。また、このまま許していいのかという気持ちもある。
- 選任されなかったことで、自分に何か問題があったのではないかと、気にする人はいないのか。
- 不選任の告知の際、裁判長からあいさつを兼ねて、制度についての必要な説明を行っている。アンケート結果からも、理解してもらっていると考えている。
- 名簿登載者からの「介護の必要性はどのように証明したらいいですか。」という質問には、どのように答えているのか。
- コールセンターで対応しているので、具体的な個々の答え自体は承知していないが、資料の提出がなくても、介護が必要な方との関係や状況などの具体的な記載があれば、それで判断をしている。

※ アンケートの実施自体には特に意見なし

- アンケートの内容を見ると、辞退事由に仕事を事情としてあげている人が少なからずあるようだが、岩手県内は中小の事業所が多いので、出席した人に、事業所の協力はどうだったのか聞いてみてはどうか。
- 経験者へのアンケート結果の利用状況について、現在はデータの蓄積段階と考えている。弁護人の説明がわかりにくかったという結果もあるので、担当した弁護士と経験交流会を行っており、今後、研修などに生かしていきたいと考えている。
- 経験者へのアンケートに、裁判員の男女比や年齢構成についてどのように思ったかを付け加えてはどうか。
- (選任手続の) 休憩室については、スペースが狭いと感じた。
お茶などのサービスについては、「国民の義務として来ているのだから、特別な扱いは不要」という意見もあるようだが、これから育てていかなければならない制度なので、続けていった方がいいと思う。
- 2時間以上も緊張した状態にあると思うので、今後もサービスは続けていきたいと考えている。
- 記者会見について、報道機関と協定を結んでいるか。また、要望の例はあるか。
- 協議書を作成した。見直し等の要望は出ていない。

第5 次回委員会について

地家裁合同で、9月頃に開催することとした(テーマ未定)。

第6 閉会

以 上